

人間生活学研究科 博士前期課程 カリキュラムマップ (R3.4~)

		共通ディプロマ・ポリシー		領域別ディプロマ・ポリシー【栄養・生活学領域】			領域別ディプロマ・ポリシー【社会福祉学領域】			領域別ディプロマ・ポリシー【文化学領域】			
		1) 人間の生活に根ざした学問 (栄養・生活学、社会福祉学、文化学) を基盤に、専攻領域及び関連領域における学術的知識を身に付けている。	2) 設定した研究課題を学際的・科学的な視点で捉え、学問の体系化と発展に寄与する研究能力を身に付けている。	1) 栄養・生活に関する分野における専門的な知識と技術を身に付けている。(知識・理解)	2) 地域社会の特性を踏まえ、栄養・生活に関する諸課題を科学的視点で捉え、解決のための具体的な方策を提言できる研究能力を身に付けている。(研究遂行能力)	3) グローバルな視野を持って、栄養・生活に関する諸課題に取り組み、その過程で得られた技術や知識を世界に向けて発信できる力を身に付けている。(総合的な学修経験と創造的思考力)	1) 社会福祉学の分野における専門的な知識と技術を身に付けている。(知識・理解)	2) 地域社会の特性を踏まえ、社会福祉に関する諸課題を科学的視点で捉え、解決のための具体的な方策を提言できる研究能力を身に付けている。(研究遂行能力)	3) グローバルな視野を持って、社会福祉学の新たな支援方法や資源の開発等に取り組み、創造的な実践を展開できる力を身に付けている。(総合的な学修経験と創造的思考力)	1) 文化研究の分野における専門的な知識と技術を身に付けている。(知識・理解)	2) 文化に関する地域の諸課題を人文科学的または社会科学的視点で捉え、解決のための具体的な方策を提言できる研究能力を身に付けている。(研究遂行能力)	3) 文化に関する諸課題に取り組み、その過程で得られた技術や知識を地域に向けて発信できる力を身に付けている。(総合的な学修経験と創造的思考力)	
ディプロマ・ポリシー ◎=学修成果の修得のために特に重要な科目 ○=学修成果の修得のために重要な科目													
共通科目	大学院共通科目	研究と倫理	◎	○									
		教育学特論	◎	○									
		教育心理学特論	◎	○									
		ジェンダー論	◎	○									
		臨床倫理	◎	○									
		グローバルヘルス論	◎	○									
		ケア論	◎	○									
	看護マネジメント論	◎	○										
	人間生活学研究 科科目	研究方法論Ⅰ	○	◎		○							
		研究方法論Ⅱ	○					◎	○				
		研究方法論Ⅲ	◎	○							○		
		データ解析論	◎	○	○								
		環境解析論	◎	○	○		○						
		地域スポーツ論	◎	○									
健康リハビリテーション論		○	◎										
栄養・生活学 領域科目	食物科学	食品生化学特論		○	○	◎							
		食品製造学特論	○		◎								
		食物科学論	○		◎								
		食物科学実践演習	○		◎	○							
	人間栄養学	栄養学特論	○		◎	○							
		臨床栄養学特論	○		◎	○							
		健康動態論	○		◎								
		栄養疫学論		○	◎	○							
	栄養・生活学	栄養・生活特論Ⅰ	○		◎	○							
		栄養・生活特論Ⅱ	○		◎	○							
		栄養・生活統計論	○		◎	○							
		環境生態論	○	○	◎								

人間生活学研究科 博士前期課程 カリキュラムマップ (R3.4~)

		共通ディプロマ・ポリシー		領域別ディプロマ・ポリシー【栄養・生活学領域】			領域別ディプロマ・ポリシー【社会福祉学領域】			領域別ディプロマ・ポリシー【文化学領域】			
		1) 人間の生活に根ざした学問(栄養・生活学、社会福祉学、文化学)を基盤に、専攻領域及び関連領域における学術的知識を身に付けている。	2) 設定した研究課題を学際的・科学的な視点で捉え、学問の体系化と発展に寄与する研究能力を身に付けている。	1) 栄養・生活に関する分野における専門的な知識と技術を身に付けている。(知識・理解)	2) 地域社会の特性を踏まえ、栄養・生活に関する諸課題を科学的視点で捉え、解決のための具体的な方策を提言できる研究能力を身に付けている。(研究遂行能力)	3) グローバルな視野を持って、栄養・生活に関する諸課題に取り組み、その過程で得られた技術や知識を世界に向けて発信できる力を身に付けている。(総合的な学修経験と創造的思考力)	1) 社会福祉学分野における専門的な知識と技術を身に付けている。(知識・理解)	2) 地域社会の特性を踏まえ、社会福祉に関する諸課題を科学的視点で捉え、解決のための具体的な方策を提言できる研究能力を身に付けている。(研究遂行能力)	3) グローバルな視野を持って、社会福祉学の新たな支援方法や資源の開発等に取り組み、創造的な実践を展開できる力を身に付けている。(総合的な学修経験と創造的思考力)	1) 文化研究の分野における専門的な知識と技術を身に付けている。(知識・理解)	2) 文化に関する地域の諸課題を人文科学的または社会科学的視点で捉え、解決のための具体的な方策を提言できる研究能力を身に付けている。(研究遂行能力)	3) 文化に関する諸課題に取り組み、その過程で得られた技術や知識を地域に向けて発信できる力を身に付けている。(総合的な学修経験と創造的思考力)	
社会福祉学領域科目		社会福祉原論	○				◎						
		福祉リハビリテーション論	○	◎									
		ソーシャルワーク論	○					◎	○				
		社会保障論	○	○				◎					
		福祉行財政論	○	○				◎					
		地域福祉論 I	○	○					◎				
		地域福祉論 II	○	○					◎				
		国際福祉論 I	○	○				○		◎			
		国際福祉論 II	○	○					○	◎			
		介護福祉論 I	○					◎		○			
		介護福祉論 II	○					○		◎			
		高齢者福祉論	○					◎	○				
		障害者福祉論	○					◎	○				
		精神保健福祉論	○					◎	○				
		精神科ソーシャルワーク論	○					○	◎				
		児童・家庭福祉論 I	○					◎		○			
		児童・家庭福祉論 II	○					◎		○			
		地域文化	地域文化論 I	○							◎	○	○
		地域文化論 II								○	◎	○	
		地域文化論 III								◎	○	○	
観光文化論 I	○	○						◎					
観光文化論 II		○							◎	◎			
観光文化論 III		○							◎	◎			
日本文化	日本文化論 I	○							◎	○	◎		
日本文化論 II								◎	○	◎			
日本語文化論		○							◎	◎			
文学 I	○							◎		○			

ディプロマ・ポリシー  
◎=学修成果の修得のために特に重要な科目  
○=学修成果の修得のために重要な科目

人間生活学研究科 博士前期課程 カリキュラムマップ (R3.4~)

		共通ディプロマ・ポリシー		領域別ディプロマ・ポリシー【栄養・生活学領域】			領域別ディプロマ・ポリシー【社会福祉学領域】			領域別ディプロマ・ポリシー【文化学領域】		
		1) 人間の生活に根ざした学問 (栄養・生活学、社会福祉学、文化学) を基盤に、専攻領域及び関連領域における学術的知識を身に付けている。	2) 設定した研究課題を学際的・科学的な視点で捉え、学問の体系化と発展に寄与する研究能力を身に付けている。	1) 栄養・生活に関する分野における専門的な知識と技術を身に付けている。(知識・理解)	2) 地域社会の特性を踏まえ、栄養・生活に関する諸課題を科学的視点で捉え、解決のための具体的な方策を提言できる研究能力を身に付けている。(研究遂行能力)	3) グローバルな視野を持って、栄養・生活に関する諸課題に取り組み、その過程で得られた技術や知識を世界に向けて発信できる力を身に付けている。(総合的な学修経験と創造的思考力)	1) 社会福祉学の分野における専門的な知識と技術を身に付けている。(知識・理解)	2) 地域社会の特性を踏まえ、社会福祉に関する諸課題を科学的視点で捉え、解決のための具体的な方策を提言できる研究能力を身に付けている。(研究遂行能力)	3) グローバルな視野を持って、社会福祉学の新たな支援方法や資源の開発等に取り組み、創造的な実践を展開できる力を身に付けている。(総合的な学修経験と創造的思考力)	1) 文化研究の分野における専門的な知識と技術を身に付けている。(知識・理解)	2) 文化に関する地域の諸課題を人文科学的または社会科学的視点で捉え、解決のための具体的な方策を提言できる研究能力を身に付けている。(研究遂行能力)	3) 文化に関する諸課題に取り組む、その過程で得られた技術や知識を地域に向けて発信できる力を身に付けている。(総合的な学修経験と創造的思考力)
ディプロマ・ポリシー ◎=学修成果の修得のために特に重要な科目 ○=学修成果の修得のために重要な科目												
目	文学	文学Ⅱ								◎	○	○
		文学Ⅲ								◎	○	○
	英語文化	英語文化論Ⅰ	○							◎		
		英語文化論Ⅱ								○	◎	○
		英語文化論Ⅲ								◎		○
		英語言語文化論特論Ⅰ	○							◎	○	○
		英語言語文化論特論Ⅱ								○	◎	◎
国際日本学								◎	○	◎		
栄養・領域教育コース科目	食物科学	食品生化学特論		○	○	◎						
		食品製造学特論	○		◎							
		食物科学論	○		◎							
		食物科学実践演習	○		◎	○						
	人間栄養学	栄養学特論	○		◎	○						
		臨床栄養学特論	○		◎		○					
		食生活論Ⅰ	○		◎	○						
		食生活論Ⅱ	○		◎	○						
		食生活論演習	○		◎	○						
		健康動態論	○		◎							
		栄養疫学論		○	◎	○						
	栄養・生活学	栄養・生活特論Ⅰ	○		◎	○						
		栄養・生活特論Ⅱ	○		◎	○						
		栄養・生活統計論	○		◎	○						
環境生態論		○	○	◎								
英		英語学特論Ⅰ								○	◎	○
		英語学特論Ⅱ								○	◎	○
		英語教育学特論Ⅰ								◎	○	
		英語教育学特論Ⅱ								◎	○	

人間生活学研究科 博士前期課程 カリキュラムマップ (R3.4~)

		共通ディプロマ・ポリシー		領域別ディプロマ・ポリシー【栄養・生活学領域】			領域別ディプロマ・ポリシー【社会福祉学領域】			領域別ディプロマ・ポリシー【文化学領域】		
		1) 人間の生活に根ざした学問(栄養・生活学、社会福祉学、文化学)を基盤に、専攻領域及び関連領域における学術的知識を身に付けている。	2) 設定した研究課題を学際的・科学的な視点で捉え、学問の体系化と発展に寄与する研究能力を身に付けている。	1) 栄養・生活に関する分野における専門的な知識と技術を身に付けている。(知識・理解)	2) 地域社会の特性を踏まえ、栄養・生活に関する諸課題を科学的視点で捉え、解決のための具体的な方策を提言できる研究能力を身に付けている。(研究遂行能力)	3) グローバルな視野を持って、栄養・生活に関する諸課題に取り組み、その過程で得られた技術や知識を世界に向けて発信できる力を身に付けている。(総合的な学修経験と創造的思考力)	1) 社会福祉学の分野における専門的な知識と技術を身に付けている。(知識・理解)	2) 地域社会の特性を踏まえ、社会福祉に関する諸課題を科学的視点で捉え、解決のための具体的な方策を提言できる研究能力を身に付けている。(研究遂行能力)	3) グローバルな視野を持って、社会福祉学の新たな支援方法や資源の開発等に取り組み、創造的な実践を展開できる力を身に付けている。(総合的な学修経験と創造的思考力)	1) 文化研究の分野における専門的な知識と技術を身に付けている。(知識・理解)	2) 文化に関する地域の諸課題を人文科学的または社会科学的視点で捉え、解決のための具体的な方策を提言できる研究能力を身に付けている。(研究遂行能力)	3) 文化に関する諸課題に取り組み、その過程で得られた技術や知識を地域に向けて発信できる力を身に付けている。(総合的な学修経験と創造的思考力)
ディプロマ・ポリシー ◎=学修成果の修得のために特に重要な科目 ○=学修成果の修得のために重要な科目												
語・領域教育コース科目	英語・国際文化研究	英語圏文学特論 I								◎		○
		英語圏文学特論 II								◎	○	○
		英語圏文化特論 I								◎		○
		英語圏文化特論 II								○	◎	○
		異文化理解特論								◎	○	◎
		英語言語文化論特論 I								◎	○	○
		英語言語文化論特論 II								○	◎	◎
		英語教育実践研究 I								○	◎	○
		英語教育実践研究 II								◎	○	○
研究指導科目		栄養・生活学課題研究演習	○	○	◎	◎	◎					
		社会福祉学課題研究演習	○	○				◎	○			
		文化学課題研究演習	○	○						◎	◎	◎